

湯布珪藻土 施工マニュアル

WonderWall株式会社
代表取締役 井筒洋次
携帯電話 090-8602-5774

湯布珪藻土施工に必ず必要な材料



湯布珪藻土
1袋 13~15㎡



上パテ
MPパテ1袋 50㎡

この2つはWonderWall株式会社に
発注をしてください



下パテ ニット-のVスリークパテ60
10キロ入り 300㎡



ファイバーテープ
※推奨 ニットーのスリムファイバー

この2つは御社にてご準備をお願いします

湯布珪藻土施工に必ず必要な道具



30ℓ 練り樽



10ℓ バケツ



かくはん機 ※別紙詳細



1杯400ccの柄杓

※鍬や鍬板等は指定ありません

推奨のかくはん機 詳細



かくはん機は写真の形で1300回転の高速回転型を使ってください

※低速回転型は混ざりません

※かくはん機の羽の形も写真同様でお願いします



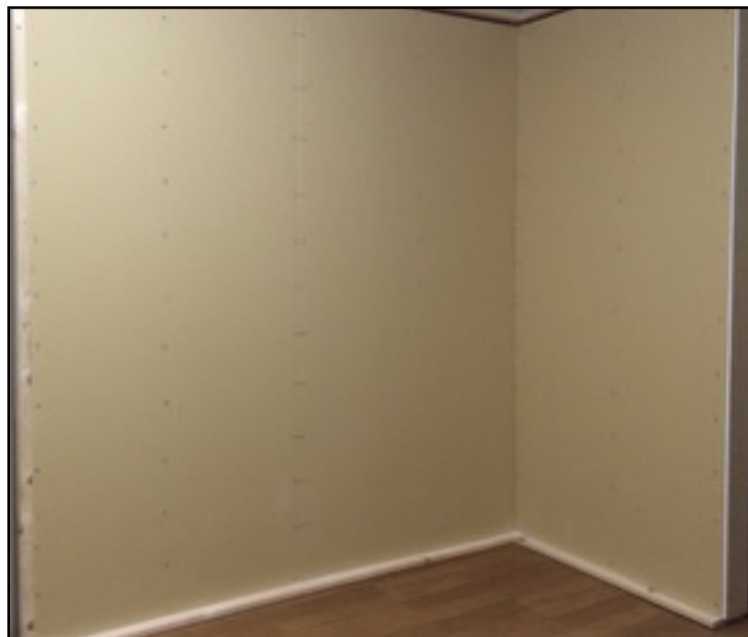
※推奨のかくはん機 マキタのUT1305

下地処理マニュアル

石膏ボード

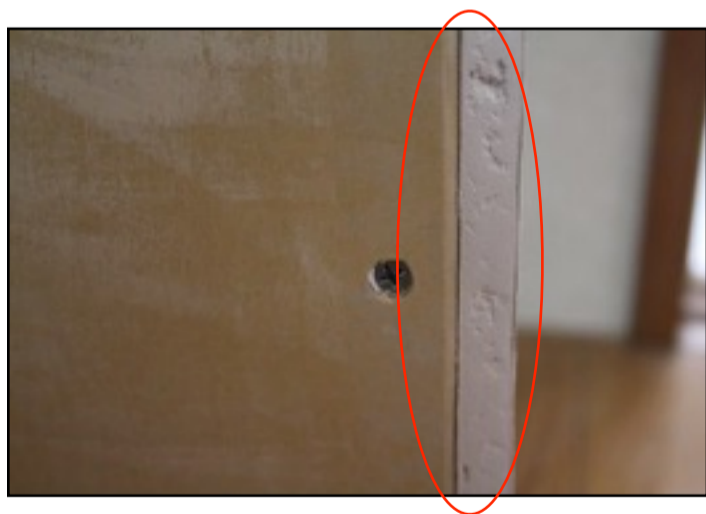


窓枠やドア枠廻りはジョイントを
ずらす事をお勧めします



石膏ボードはパテがよく入るよう
ベベルボードにしてください

※15cmピッチでビス止めをしてください



出隅部分もパテがよく入るよう
Vカットして貼ってください

石膏ボードの貼り方で下地処理効率や
ヒビ割れ防止にも大きく影響します

①下パテ

下パテはヤセの少ないパテをご使用下さい
※推奨 ニット-のVスリークパテ60



① ジョイント部分にパテを詰め込みます



② ジョイント以外についたパテを削ります

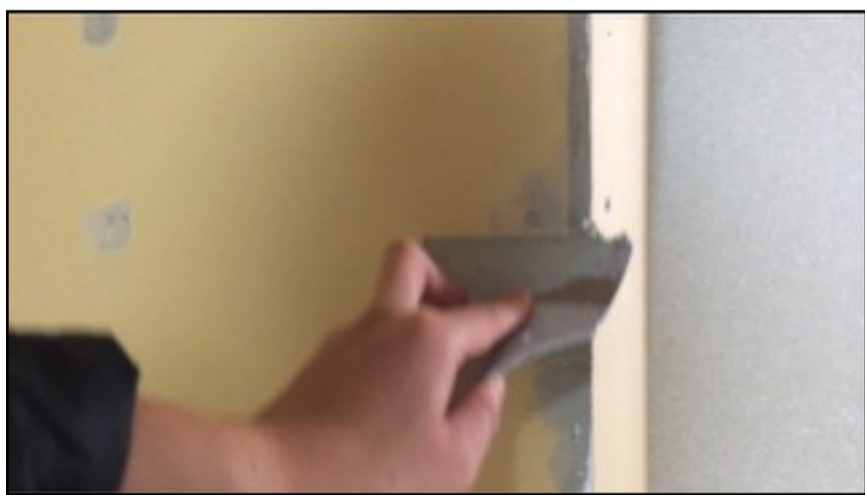


パテ幅は最小限で大丈夫です

②出隅 下パテ



① ジョイント部分にパテを詰め込みます 不陸調整も同時にしてください



② ジョイント以外についたパテを削ります

パテ幅は最小限で大丈夫です

③ビス頭部分

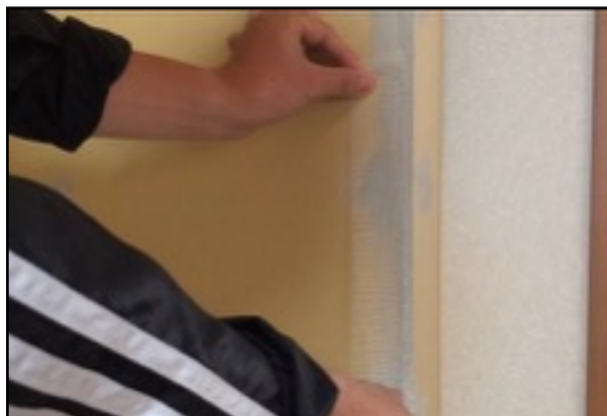


① 下パテを打ちます

④ファイバーテープ貼り



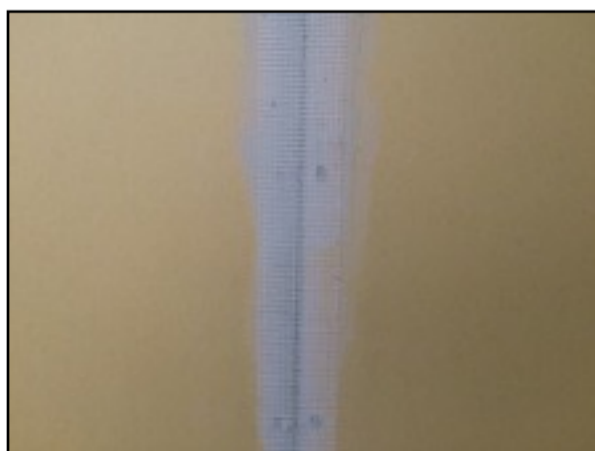
①ジョイント
下パテ済みの部分に貼ります



②出隅
下パテ済みのジョイント部分に貼ります



③入隅 直接貼ります



※出隅部分はテープがボードよりはみ出さないよう注意してください

専用パテ 練り方



- ① 柄杓で水を5杯（2.0ℓ）
バケツに入れます

※柄杓が1杯で400cc



- ② 専用パテを全部バケツに入れます



- ③ かくはん機を使ってしっかり混ぜます



最初は固いですが我慢して混ぜると
柔らかくなります



- ⑥ パテの完成

※パテは水が多いほど痩せます。

水の量は加水せず1袋に対して
2.0ℓを守ってください

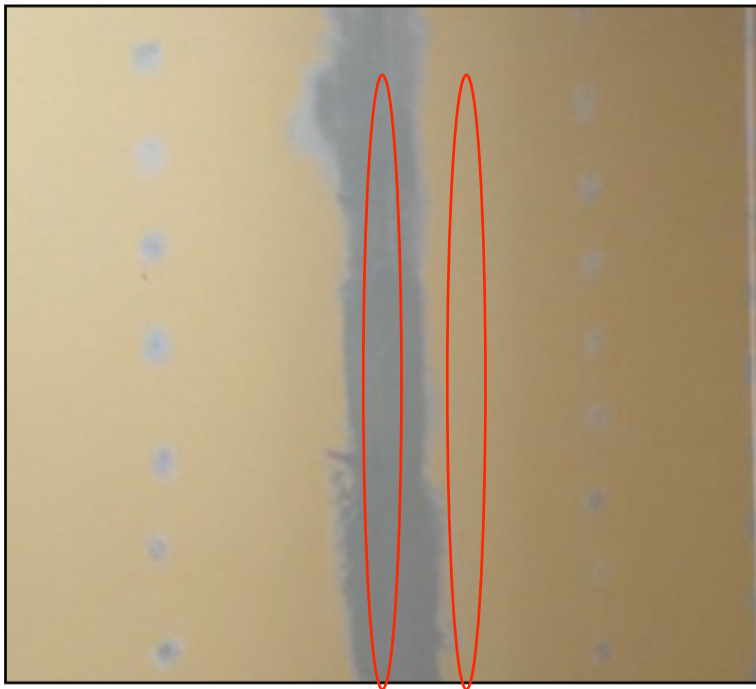
⑤ 上パテ



ファイバーテープの上に上パテを打ちます

パテ幅は200mm程度です

この時にファイバーテープが薄く見えても構いません。
逆に薄く見えるくらいシゴってください。



両耳を削りながらパテを打ってください

⑥ 出隅 上パテ



出隅もファイバーテープの上に上パテを打ちます



パテ下地処理 完成



※パテが痩せている所は増し打ちをしてください

まとめ

ジョイント部分



①下パテ打ち



②ファイバーテープ貼り



③上パテ打ち

出隅部分



①下パテ打ち



②ファイバーテープ貼り



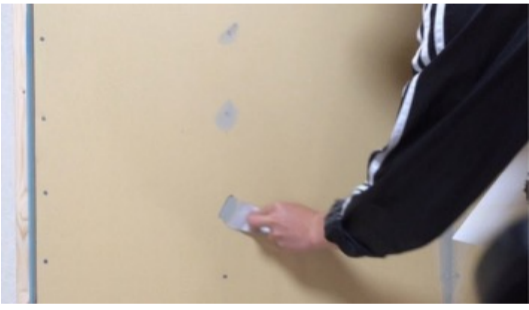
③上パテ打ち

入隅部分



ファイバーテープ貼り

ビス頭



下パテ 計1回

珪藻土 練り方マニュアル

湯布珪藻土1袋に対して練り水11ℓ + 柄杓2杯

①



11ℓの水を入れます

②



湯布珪藻土を
9割入れます

③



かくはん機で約3分間練ります
(トロトロになります)

④



残りの珪藻土を
全部入れます

⑤



かくはん機を傾けて練った土と粉を少しずつ混ぜます
約5分かかります

※粉が無くなるまでかくはん機を上下に動かさないでください。
かくはん機に負荷がかかりすぎて混ざらなくなります

続き→

⑥



粉が無くなったらかくはん機を
上下に動かして全体を練ります

⑦



柄杓（400cc）2杯加水します

⑧



かくはん機で約1分練ります



珪藻土練り完成
練り時間 トータル約10分